

2021年4月21日

大阪府知事 吉村 洋文 様

進歩と革新をめざす大阪の会（大阪革新懇）

## 新型コロナウイルス対策を強化し、府民の命と健康を守るための緊急要望

新型コロナウイルス感染が広がって1年以上が経過しました。これまで大阪府には2度にわたる緊急事態宣言が発令され、現在まん延防止等重点措置が適用されています。しかし、感染収束の目途は一向に立たず、政府が3度目の緊急事態宣言を大阪府に発令する方針を固めるもとの、府民は感染への不安を抱えながら日々暮らしています。

感染力が強く重症化しやすい変異株により、大阪では1日あたりの新たな感染者が1200人を超え、重症病床が不足する事態に陥っています。緊急事態宣言等による自粛と緩和の繰り返しでは、医療機関・高齢者施設・保健所は疲弊するばかりです。4月7日に開催された大阪府対策本部会議では、朝野座長から「施設の検査を拡充すべき」、府医師会長・茂松委員から「無症状者等に対しても積極的な検査を行うことが重要」との意見が出されています。今こそ大阪府は医療崩壊を食い止め、府民の命と健康を守るために、新型コロナウイルス対策を抜本的に強化すべきです。

以上の立場から、進歩と革新をめざす大阪の会は、PCR検査の抜本的な拡大、医療機関への減収補填、保健所体制の強化をはじめとした以下の事項を大阪府に要望します。

### 記

- 1、モニタリング検査を抜本的に増やし、府内の繁華街やターミナルで実施すること。クラスターが発生している地域等にモニタリング検査を実施すること。
- 2、PCR検査を抜本的に拡充すること。高齢者施設等の従事者や入所者に実施しているPCR検査を、通所施設の従事者や利用者、医療従事者、幼稚園・小中学校・高等学校・特別支援学校の教職員、保育所・放課後学童保育の職員に実施すること。
- 3、変異株PCR検査をすべての新規陽性者に行うこと。
- 4、重症病床を増やす具体的対策を早急に行うこと。
- 5、医療機関への減収補填等の支援を直ちに実施すること。
- 6、保健所の保健師・職員の増員をはじめ保健所体制を抜本的に強化すること。
- 7、ワクチン接種に関して、市町村と連携して医師・看護師の確保、ワクチン情報の発信、ワクチン接種にかかわる救急体制の確立等をすすめること。

大阪革新懇

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15

大阪グリーン会館3F

電話 06-6357-5302 FAX 06-6357-9410

事務局長 大原 真